

- と浮腫対策として用いた弾力包帯（ハイスパン）の有用性. 第48回日本透析医学会. 2003, 6, 20-22. 透析会誌 36:947.
- 7 *池田 潔, 橋口友貴, 前田篤宏, 田村恭久, 水政 透, 二宮利治, 安藤高志, 熊谷晴光: 予防的(早期) PTA 施行の有用性の考察. 第48回日本透析医学会. 2003, 6, 20-22. 透析会誌 36:891.
 - 8 池田裕次, 原口総一郎, 岸 知哉, 西本 愛, 藤崎大整, 酒見隆信: 血液部分再循環法を利用して, 抗凝固剤なしで持続血液透析濾過を施行した一例. 第48回日本透析医学会. 2003, 6, 20-22. 透析会誌 36:1067.
 - 9 池田裕次, 原口総一郎, 西本 愛, 岸 知哉, 藤崎大整, 酒見隆信: 原発性ネフローゼ症候群における N-acetyl- β -glucosaminidase 値の検討. 第46回日本腎臓学会総会. 2003, 5, 22-24. 日腎誌 45:306.
 - 10 岸 知哉, 原口総一郎, 西本 愛, 藤崎大整, 池田裕次, 酒見隆信: 当院における TTP3 症例の治療経験. 第48回日本透析医学会. 2003, 6, 20-22. 透析会誌 36:1020.
 - 11 *水政 透, 柳瀬哲郎, 前田篤宏, 橋口友貴, 田村恭久, 二宮利治, 池田 潔, 安藤高志, 熊谷晴光: 中性化腹膜透析液への変更による腹膜機能の変化. 第48回日本透析医学会. 2003, 6, 20-22. 透析会誌 36:783.
 - 12 中村郁子, 岸 知哉, 西本 愛, 池田裕次, 安藤高志: 肉眼的血尿を主訴とした, 発作性寒冷ヘモグロビン尿症の1例. 第46回日本腎臓学会総会. 2003, 5, 22-24. 日腎誌 45:656.
 - 13 *二宮利治, 池田 潔, 前田篤宏, 田村恭久, 橋口友貴, 水政 透, 安藤高志, 熊谷晴光: 人工血管シャント閉塞に対する PTA 施行後の肺梗塞について. 第48回日本透析医学会. 2003, 6, 20-22. 透析会誌 36:968.
 - 14 °杉原 甫, 戸田修二, 渡辺恵子, 青木茂久: 骨髄間質細胞が, HeLa 細胞の浸潤性増殖へ及ぼす影響培養条件下での検討. 第92回日本病理学会総会. 2003, 4, 23-25 日本病理学会会誌 92:245.
 - 15 *田村恭久, 平川克哉, 前田篤宏, 橋口友貴, 水政 透, 二宮利治, 池田 潔, 安藤高志, 熊谷晴光, 友岡 卓, 片渕律子: 紫斑病性腎炎を原疾患として維持透析中に Crohn 病を発症した一例. 第46回日本腎臓学会総会. 2003, 5, 22-24. 日腎誌45:629.
 - 16 °戸田修二, 渡辺恵子, 青木茂久, 杉原 甫: 骨髄由来間質細胞の血管内皮細胞への分化転換における甲状腺濾胞上皮細胞の関与と上皮-間葉相互作用の役割. 第92回日本病理学会総会. 2003, 4, 23-25 日本病理学会会誌 92:246.
 - 17 横尾真子, 原口総一郎, 岸 知哉, 西本 愛, 池田裕次, 安藤高志: 拒食と下剤の過剰連用とに関連して発症したと思われる末期慢性腎不全の1例. 第46回日本腎臓学会総会. 2003, 5, 22-24. 日腎誌45:644.
 - 18 °渡辺恵子, 青木茂久, 藤山千里, 戸田修二, 杉原 甫: 多彩な組織所見を呈した嚢胞状傍尿道腫瘍の1例. 第92回日本病理学会総会. 2003, 4, 23-25 日本病理学会会誌 92:306.

皮膚

著 書

- 1 Narisawa Y.: Possible Functional Significance of Spacial Relationship Between Merkel Cells and Langerhans Cells in Human Hair Follicles. In: The Merkel Cell. Structure-Development

- Function-Carcinogenesis. Baumann K1, Halata Z, Moll I eds. 71-77. Springer-Verlag. 2003.
- 2 成澤 寛：皮膚の異常。瀧 健治，加藤博之，河野寛幸福，増田裕幸編：症候からの鑑別診断の進め方，223-232，羊土社。東京 2003。
 - 3 成澤 寛：色素異常症など。小野友道，溝口昌子編：皮膚科専門医試験解説集，24-30，金原出版。東京 2003。
 - 4 三砂範幸：尿酸代謝異常。玉木邦彦，飯塚 一，清水 宏，富田 靖，宮地良樹，橋本公二，古江増隆 編：最新皮膚科学大系，第10巻，内分泌代謝異常症，脂肪組織疾患，形成異常症，異物沈着症，97-102，中山書店。東京 2003。
 - 5 三砂範幸，成澤 寛：Part 2 主要症候，Section 9 皮膚の変化，58 免疫学的機序により生じる皮膚疾患。Grauwald E et al. eds. (日本語版監修 福井次矢，黒川 清) ハリソン内科学 (原著第15版)，日本語版，Vol. 1，337-343。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2003。
 - 6 中房淳司：薬疹。Grauwald E et al. eds. (日本語版監修 福井次矢，黒川 清) ハリソン内科学 (原著第15版)，日本語版，Vol. 1，343-349。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2003。
 - 7 望月良子，成澤 寛：主要症候，Section 9 皮膚の変化，55 皮膚症状のある患者へのアプローチ。Grauwald E et al. eds. (日本語版監修 福井次矢，黒川 清) ハリソン内科学 (原著第15版)，日本語版，Vol. 1，313-316。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2003。
 - 8 山崎峰子，成澤 寛：主要症候，主要症候，Section 9 皮膚の変化，56 湿疹，乾癬，皮膚感染症，ざ瘡，その他の皮膚疾患。Grauwald E et al. eds. (日本語版監修 福井次矢，黒川 清) ハリソン内科学 (原著第15版)，日本語版，Vol. 1，316-322。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2003。
 - 9 江村 正，成澤 寛：主要症候，Section 9 皮膚の変化，57 内科疾患の皮膚症状。Grauwald E et al. eds. (日本語版監修 福井次矢，黒川 清) ハリソン内科学 (原著第15版)，日本語版，Vol. 1，322-337。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2003。
 - 10 平 嘉世，成澤 寛：主要症候，Section 9 皮膚の変化，60 光線過敏と他の光による反応。Grauwald E et al. eds. (日本語版監修 福井次矢，黒川 清) ハリソン内科学 (原著第15版)，日本語版，Vol. 1，349-354。メディカル・サイエンス・インターナショナル。東京 2003。

学術論文

- 1 成澤 寛：救急患者のみかた；症候学からみた救急臨床研修の到達目標 発疹，かゆみ。救急医学 27：355-356，2003。
- 2 成澤 寛：薬疹の診断と治療。鹿島藤津地区医師会報 97：6-7，2003。
- 3 *Watanabe S, Narisawa Y, Arase S, Okamatsu S, Ikenaga T, Tajiri Y, Kumemura M: Differences in fecal microflora between patients with atopic dermatitis and healthy control subjects. J. Allergy Clin. Immunol. 111: 587-591, 2003.
- 4 Misago N, Satoh T, Narisawa Y: Basal cell carcinoma with tricholemmal (at the lower portion) differentiation within seborrheic keratosis. J. Cutan. Pathol. 30: 196-201, 2003.
- 5 Misago N, Narisawa Y: What is your diagnosis? Benign or malignant? Dermatopathol.:Pract & Conc 9 (2: available online at www.Derm101.com), 2003.

- 6 *Grosshans E, Misago N, Sanchez Yus E, Soyer HP, Requena L: A basaloid neoplasm with ductal differentiation. Am. J. Dermatopathol. 25: 77-80, 2003.
- 7 *Böer A, Misago N, Wolter M, Kiryu H, Wang XD, Ackerman AB: Prurigo pigmentosa: a distinctive inflammatory disease of the skin. Am. J. Dermatopathol. 25: 117-129, 2003.
- 8 三砂範幸：総説 基底細胞癌の病理. 西日本皮膚科 65：421-428, 2003.
- 9 三浦由宏, 藤崎伸太：Pasteurella 感染症. 皮膚病診療 25：637-640, 2003.
- 10 三浦由宏, 藤崎伸太, 安芸雅史, 林 秀樹, 桑原守正：丹毒様外観を呈した膀胱癌皮膚転移の1例. 西日本皮膚科 65：462-464, 2003.
- 11 平島徳幸, 三砂範幸, 中房淳司, 成澤 寛：Drug-induced Hypersensitivity syndrome の2例—臨床および病理組織学的多様性について—. 西日本皮膚科 65：365-369, 2003.
- 12 凌 太郎, 中房淳司, 三砂範幸, 成澤 寛：Fonsecaea pedrosoi による Chromoblastomycosis の1例—真皮内に菌糸性菌要素を呈した例—. 西日本皮膚科 65：592-594, 2003.
- 13 小楠優子, 三砂範幸, 成澤 寛：Fibrous papule of the nose の1例：結節性硬化症における Angiofibroma との比較検討. 西日本皮膚科 65：578-582, 2003.
- 14 鈴木康之, 望月良子, 三浦由宏, 三砂範幸, 成澤 寛, 小泉 徹, 原口 彰：前駆病変を欠き急速に増大し頭蓋内まで直接浸潤した有棘細胞癌の1例. 西日本皮膚科 65：30-33, 2003.

学会発表

- 1 三砂範幸, 成澤 寛：Basal cell carcinoma with tricholemmal (at the lower portion) differentiation within seborrheic keratosis. 第102回日本皮膚科学会総会. 2003, 5. 23-25. 日皮会誌 113：811.
- 2 Nakafusa J, Shinogi T, Misago N, Narisawa Y: Hair cycle dependency of Merkel cell distribution of hair discs (Haarscheiben) in the back of rats. 11th Annual Meeting of SHSR Joint with KHRS. 2003, 11, 29. Program and Abstract: 64.
- 3 中房淳司, 凌 太郎, 三砂範幸, 成澤 寛, 平 嘉世, 田中達朗：ラット背部の毛盤の観察—毛周期に伴うメルケル細胞数の変化—. 第30回日本電顕皮膚生物学会総会および学術大会. 2003, 9, 12-13. プログラム・抄録集：40.
- 4 中房淳司, 凌 太郎, 三砂範幸, 成澤 寛, 平 嘉世, 田中達朗：ラット背部の毛盤における毛周期に伴うメルケル細胞数の変化. 第102回日本皮膚科学会総会. 2003, 5. 23-25. 日皮会誌 113：692.
- 5 三浦由宏, 三砂範幸, 成澤 寛, 安芸雅史, 林 秀樹, 藤崎伸太：上腕に生じた皮下気管支性囊腫の1例. 第102回日本皮膚科学会総会. 2003, 5. 23-25. 日皮会誌 113：811.
- 6 三浦由宏, 森 徹, 三砂範幸, 成澤 寛, 安永牧生, 徳永 藏, 橋本 洋：熱傷瘢痕に生じた骨外性骨肉腫の1例. 第19回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会. 2003, 6, 13-14. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集：135.
- 7 平島徳幸, 三砂範幸, 成澤 寛：第19回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会. 2003, 6, 13-14. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集：102.
- 8 平島徳幸, 三砂範幸, 成澤 寛：毛孔性紅色靴痕疹の4例. 第18回日本乾癬学会学術大会. 2003, 9, 12-13. 第18回日本乾癬学会学術大会プログラム・抄録集：91.
- 9 平島徳幸, 井上卓也, 三砂範幸, 成澤 寛：紅皮症を呈した小児毛孔性紅色靴痕疹の2例. 第27回

日本小児皮膚科学会. 2003, 6, 28-29. 日本小児皮膚科学会雑誌 22:105.

- 10 井上卓也, 三砂範幸, 成澤 寛: 腋窩リンパ節腫大を主訴に受診し, リンパ節にて myxoid melanoma の像を呈した悪性黒色腫の1例. 第29回日本電顕皮膚生物学会. 2002, 10. 4-5. The J. Dermatol. 30: 770-771, 2003.
- 11 森 徹, 古場慎一, 大川 毅, 平島徳幸, 三砂範幸, 成澤 寛: 悪性血管内皮細胞腫の3例. 第102回日本皮膚科学会総会. 2003, 5. 23-25. 日皮会誌 113: 738.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	成澤 寛	平成15年度科学研究費補助金	基礎研究(C)	メルケル細胞の細胞生物学的特性の研究—特に毛嚢メルケル細胞の機能について—	1,100
助手	三浦 由宏	平成15年度文部科学省研究費補助金	若手研究(B)	皮膚重症感染症におけるヒト RP105 分子の発現の解析— <i>Vibrio vulnificus</i> 感染症へのアプローチ	1,800

精神医学講座

著書

- 1 山田茂人: パニック障害と全般性不安障害, 今日の治療指針, 659-660, 2003

学術論文

- 1 山田茂人: (全般性不安障害) 不安の神経科学 最新精神医学, 8, 525-535, 2003
- 2 Kawashima T, Yamada S: Paroxetine-induced somnambulism. J Clin Psychiatry, 64, 483, 2003
- 3 川島敏郎: 感染症特論 プリオン病, Gerstmann-Straussler-Scheinker (GSS) 病, 致死性家族性不眠症 (Fatal familial insomnia) など. 日本臨床, 61(Supple 3): 17-21, 2003.
- 4 Jiang N, Sato T, Hara T, Takedomi Y, Ozaki I, Yamada S.: Correlation between trait anxiety, personality and gafigue study based on the temperament and character inventory. J. Psychosom Res, 55, 493-500, 2003.
- 5 川島敏郎, 山田茂人: 佐賀医科大学医学部附属病院での精神科研修プログラム案について. 精神科, 3, 57-59, 2003.
- 6 山田茂人: 統合失調症の情報処理障害に関する前臨床研究, 精神神経学雑誌, 105, 1277-1278, 2003.
- 7 杠 岳文, 比江島誠人, 遠藤光一, 吉森智香子, 村上 優: 老年期におけるアルコール依存・薬物依存, 精神科治療学, 18, 675-680, 2003.
- 8 武富弥栄子, 尾崎岩太, 山田茂人, 浜野香苗, 井上悦子, 佐野雅之, 只野寿太郎: 大学生保護者の HIV/STD に関する意識調査. 日本エイズ学雑誌, 5, 76-81, 2003.

学会発表

- 1 川島敏郎, 織田麻理子, 久野泰介, 植木裕司, 久富昭孝, 山田茂人: 原因不明の ACTH 過剰分泌を伴う Cushing 症候群による症状精神病の一例, 第16回日本総合病院精神医学会総会, 京都, 2003年